

折に触れ 四字熟語

NO. 142 『春寒料峭』 しゅんかん りょうしょう

< 意味 > 春になって寒さがぶり返し、肌寒く感じられるさま。
「春風料峭」も同義語です。

語 釈 : 「春寒」は春になってぶり返した寒さ。「料」は肌をなで触れる意。「峭」は厳しい意。

一 言 : 「三寒四温」とはよく言ったものですが、3月14日の寒さは格別でした。みぞれが降るほどの震え上がる天気でした。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」